

21世紀を担う調和のとれた人間教育

アディッシュ株式会社、スクールガーディアン事業部より渡邊いずみ様をお招きして、中学1年生・高校1年生を対象に「ソーシャルメディアとの上手な付き合い方」について講演していただきました。ソーシャルメディアは近年急速に発展してきており、今や我々の生活とは切っても切れない密接な関係にあるにも関わらず、その危険性は十分に周知されていない状況です。今回の講演を通して、生徒の皆さんがソーシャルメディアの危険性を知り、適切に向き合ってもらいたいです。

●講演内容「ソーシャルメディアとの上手な付き合い方」

◇**ソーシャルメディアの特徴** … 世界とつながることや、情報を簡単に世界中に拡散させることができる。

◇**ソーシャルメディアの危険性**

① 一度ネット上に投稿したものは簡単に消すことはできず、残ってしまう。
自分の投稿を消したとしても、他人のフォルダには残っているかもしれない。

② ソーシャルメディア、SNSは世界中に公開されている。

「身の回りにしか公開していないから大丈夫」なんてありません。知らない所で公開されてしまう可能性も。

③ SNS上で本人が特定されてしまう

自分のことはもちろんのこと、写真と一緒に写っている友人も特定されてしまうことがあり、迷惑をかけてしまうことも。本人は気にしていない小さな情報からストーカー被害にあうことも…。また、撮影した写真にはGPS機能が付いていることもあり、注意が必要。

④ SNS上での法律違反

著作権法違反、肖像権の違反、営業妨害など、軽い気持ちで“ちょっとしたこと”とも思ってしまうようなことでも様々な危険性が出てきてしまいます。SNSに写真を気軽に投稿することのないようにしましょう。もし、写真を投稿したい場合には慎重に確認しましょう。

⑤ SNS上での友人トラブル

近年、LINEでのコミュニケーショントラブルが増えています。文字を中心としたコミュニケーションが大半であるため、誤解が生まれないように注意しましょう。

⑥ ネット依存の可能性

インターネットに熱中するあまり、依存症となり抜け出せなくなってしまう事例もあります。



以上の危険性を十分に理解した上で、適切に使用していくよう講演して頂きました。

講演感想文

SNSは大勢の人と繋がれて便利な反面、危険な側面もあることは知っていましたが、高校生は犯罪に巻き込まれやすいことや、さまざまな要素から個人を特定されることがあることなど、詳しく話を聞いていく中で、SNSへの正しい理解をし、危機感を抱きました。現在『指殺人』という恐ろしい言葉も生まれていることも初めて知りました。一方で、東日本大震災のエピソードもあり、SNSには悪い側面ばかりではないこともわかりました。今の世の中はスマートフォンがないとかなり不便に感じる人が多いので、正しく利用していくことが必要になってくると感じました。楽しいコンテンツも多くあるので、上手に使えば勉強の良いリフレッシュにもなると思います。講演者の方がおっしゃっていたスマホ利用のルールをきちんと守り、うまくソーシャルメディアと付き合いいきたいと思っています。(高校1年生)

私は「SNSとは何か」と聞かれたとき、正直悪いものだと思っていました。しかし、東日本大震災の時の話を聞いて、人間の命を助けたのがSNSだということに驚きました。また、写真などをSNSにあげたり書き込んだりした時、日時や学校、よくいる場所などが特定されてしまうので、一歩間違えたら大変なことになると感じました。私は家でスマホを使う時間などは決めていますが、それでもスマホ依存、ゲーム依存になってしまう可能性があるのではないかと考えました。これからは、ルールをつくって適切にスマホを使いたいと思いました。(中学1年生)